

横濱プロバス倶楽部 第249回5月例会議事録

2023年5月12日(金) 12:00~13:30

(出席者) 持田、内山、森山、加藤道子、加藤豊、松下、富永、荻原、鈴木国彦、関口、關、丹野、神谷、東野、小野寺、保谷、渡辺、大久保、佐藤、松本、倉嶋康、倉嶋伸、岡部、宮川、岩城、樋口 以上26名

1 開会：司会 神谷幹事

2 会長挨拶 内山会長

本日も多くの会員にご参加頂き、ありがとうございます。コロナも明けて皆さん顔色もよく、喜ばしい限りです。私の地元の町内会も活動を再開しました。この会は面白い会ですので、今後ともコロナに負けずに頑張っていきましょう。

3 ゲスト紹介 なし

4 ビジター紹介 なし

5 新入会者紹介 なし

6 誕生月会員紹介(倉嶋伸会員委員長)

5月誕生会員は平野会員のみ(本日欠席、お祝い品は丹野会員預かり)

7 長寿会員；該当者なし

8 会務報告

(1) 理事会協議及び決定事項報告(内山会長)

役員の選出について

○2023年度：6月の総会にて提案

○2024年度：「会員3グループ分け」から「2グループ分け」に変更して選出する

(神谷幹事から) 会員の高齢化と会員数の関係から変更する。また、役員任期2年制についても検討する。

(2) 各委員会報告(前月例会反省、予定報告)

*倉嶋康例会委員長；4月移動例会は、いい勉強になった。松下事務局長にはお世話になり、改めて感謝したい。私事だが、本日は面白いことがあって前日の地震と同様に早朝4時過ぎに起きた(詳細は割愛)。

*倉嶋伸会員委員長；特になし

*荻原情報委員長；4月移動例会記事をホームページに掲載しましたので是非見て下さい。また、プロバス通信次号は6月に発行しますので、ご協力よろしく。

(3) 全日本プロバス協議会(岩城全日本副会長)；9月26日に八王子で全日本の常任理事会が開催される。来年(令和6年)8月五所川原プロバス主催によるプロバス全国大会開催が正式に決まる見込み。皆さんの参加をお願いします。

9 事務局報告(松下事務局長)

① 五所川原大会の件；来年の8月上旬に開催。新幹線で新青森へ行き、貸切バスで移動する。五所川原大会参加・立佞武多見学の他、竜飛岬など青森県内を巡る2泊の旅。帰路は今別駅から新幹線。新年度7月から月1万円の旅行積立をしたいと考えている(積み立て担当を設ける)。

② 5月25日(木)13時~県民センターで総会準備会議 6月2日(金)13時~同センターで総会資料作成 役員・関係者は出席のこと

③ 移動例会懇親会の会計報告は、理事会でします(会から1人千円補助)。

10 会員放談 保谷会員(概要は下記の通り)

11 同好会活動報告と予定(松原参遊会委員長欠席、神谷幹事から)

*ボウリング同好会(持田世話人)；5月26日(金)江の島ボール10:45集合

- *ゴルフ同好会（加藤豊世話人）；6月5日（月）秦野CC 7：30 集合
- *パソコン同好会（関口世話人）；5月23日（火）14時 県民センター
- *海山同好会（樋口世話人）；5月17日（水）10：30 野島公園・BBQ
- *カラオケ同好会（富永会員）；ボウリング同好会と合同実施。

その他は休会中

1 2 月の歌「背くらべ」；富永会員の指導で合唱

1 3 倉嶋康例会委員長の閉会の言葉で終了

*今後の予定 5月理事会は例会終了後

6月9日（金）12時～例会・総会 会費 3500円 6月理事会は6/16（金）12時 以上

【会員放談】 保谷英雄会員

テーマ；あれから 50年 25歳の旅行記

昭和48年（1973年）7月に羽田からアンカレッジ経由でヨーロッパへ。成田はその5年後、昭和53年に開港。（なお、成田空港はまだ未完成だが、中国は数年で巨大空港を整備する。34歳の時に上海に行ったが、54歳で再度行った時には激変していて巨大空港が出来ていた。34歳の時汽車で行った蘇州まで高速道路が整備され、蘇州も企業団地整備中だった。また、プロバスで2013年に上海へ行った時には高層ビルが林立していて更に驚いた。当時のことを知る人も森山さん、松下さん、保谷のみとなった。）

1973年、機内ではまだ喫煙可能であった（売上No. ONEはハイライト60円からセブンスター70円へ移行した頃）。

旅の話に入る前に 1973年当時を振り返ってみたい。

社会；金大中事件（8/8） 尾崎玲於奈氏ノーベル物理学賞（10/23）

スポーツ；第1回世界女子ゴルフ選手権大会樋口久子優勝（4/8）日本シリーズ巨人軍9年連続優勝（11/1）

歌；神田川（当時アパートに風呂なし）・なみだの操（今では差別と言われる）

出版物；日本沈没（小松左京）・ノストラダムスの大予言（五島勉）⇒20世紀末の予言「2000年問題」も無事に通過した。 **映画**；仁義なき戦い・恍惚の人 **テレビ**；北の家族・刑事コロンボ・国盗り物語

ブーム；ゴルフ（色々あった）・超能力・ツチノコ **流行語**；ドリフの「ちょっとだけよ」、加藤茶の他、今や生存者は高木ブーだけ。「じっと我慢の子」しとしとピッチャンの大五郎も、今や53歳のお父さん。当時EUはなく、1ドル308円 タクシー初乗り170円～180円 入浴料55円 こんな時代でした。

さて、配布した旅行記から印象に残っている点を、掻い摘んでお話したい。

まず 2頁「水の話」；欧州は硬水で軟水の日本と異なり、水当たりする。飲み水はジュースやビールと同料金。名水が多い日本とは違う。アフリカや中国も水不足。コップ一杯の小用に5杯の水を流すトイレを使う日本は極めて贅沢な国だが、中国人が水源地の土地を購入しても心配していない。法整備が必要と思う。日本は半導体生産に後れを取ったが、水が豊富な我が国はこの点で優位。やっと九州（熊本）での生産基地整備が決まった。

次に 5頁「高速道路の話」；ドイツのアウトバーンは30年も前に整備されたが、日本は当時やっと整備開始の時代であった。整備費償却後は無料になるはずであったが、維持費に経費が掛かるので無料にはならない。むしろ料金値上げが待っている。

次は 7頁「電話と数字の話」；ヨーロッパでは、7には なか棒を入れるが、「7」と書いたらフロントが「1」と解釈して不通になり、再度かけることになった。最近、国際電話をケイタイで顔を見てしているの

で、外国に来ているとは思えない時代になった。

9頁「水の都ベニス」；東京駅の近辺も以前は湿地で、丸太の杭を打ち込んだそうだが、ベニスは何万、何千の丸太で土台が出来ているようだ。けれどもこの土台もあやしくなっており、いずれ水没の危機に晒されている。中央広場が洪水で水浸しになったことは有名だ。

11頁「フローレンスでの食事」；前菜のパスタが美味しくてお替りしたが、その後更に良い料理が出て残念なことをした。訪米人は大食するが、日本人並みにすれば食糧不足は解消されるのではないか。それでも日本で“ギャル曽根”などの「大食い競争」が流行っていて、50年前のモーレッツ社員の時代「24時間働けますか」「分かっちゃいるけど止められない」「どうする企業戦士」から、「ゆとり」の時代への移行はまだまだ先かなと思う。ちょうど時間となりましたので以上とします。

【神谷幹事から一言】

少し時間を頂いて、新聞ネタを紹介したい。

第1次世界大戦は、1914年7月28日開戦 数字合計 68（二桁ずつの計）

第2次世界大戦は、1939年9月1日開戦 数字合計 68

ウクライナ戦争は、2022年2月24日開戦 数字合計 68 **すべて68**

歴史の符号一致は恐るべきものがあり、第3次大戦にならないよう祈るばかりです。

岸田首相も極秘裏に現地訪問し日本開催のG7会議に備えています。新聞のべた記事も重要ですので紹介しました。